令和7年1月26日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名称… グループホーム あしたか

サービス種類… 認知症対応型共同生活介護

会議開催日…令和 7 年 1 月 24 日

開催場所… 特別養護老人ホーム東寿苑 訓練室

出席者

事業所	2人	利用者	0人
利用者家族	0人	地域代表者	2人
松江市職員	1人	包括支援センター	0人
知見を有する者	0人	その他	0人

議事

1. あしたかの現状報告

◎ 利用者状況

R7年1月24日現在利用状況 現在満床

要支援2・・1名 介護1・・4名 介護2・・3名 介護3・・1名

平均介護度・・1.62(要支援2の方除く)

現在待機者調査を実施中。5名の方が引き続き入所の希望あり。2名の方が施設入所等で、待機から外してほしいと申し出あり。

まだ連絡のない方には後日連絡を取る予定。

◎ 活動状況

11/8 避難訓練(夜間想定)

12/19、1/10 習字

11/27 散髪

11/9 お茶会

11/26 コロナワクチン接種

12/27 忘年会(ボランティア様によるギター演奏)、昼食は刺身の提供があり、生物はあしたかに運べないということで、東寿苑デイで食事を行う。

1/1 阿太加夜神社へ初詣

1/8 新年会(職員によるギター伴奏、童謡唱歌)、忘年会同様、生物の提供があり、東寿苑デイにて食事を行う。

クラブ活動はコロナウイルスの影響で中止

◎ 事故 4件 11/4 廊下で転倒

13:30頃、廊下の長イスに腰掛けておられたA様が「あー」と大声と共に転倒されている。ホールに入ろうと立ち上がり、扉のサンを持たれ、そのままずるずる転倒されたもよう。外傷は見られず。

11/22 居室内で転倒

14時頃、B様のセンサーが鳴り職員訪室。Pトイレが終わりホールにお誘いしようとする、右足の靴のかかとを踏んでおられ、直そうとされたので職員も直そうとしたら、B様がベッドに座ろうとされ、距離が足りず尻もちをつかれる。ベッドのフレームで背中を擦られ、背中に擦り傷3か所発見する。

11/24 居室内で転倒

16時5分頃、C様の居室より「ドン」と物音がし訪室すると、C様が洗面台の前で壁を背にする姿勢で、床に座っておられるの発見する。ご本人様にお話を伺うと、「洗面所で手を洗ってから足がもつれて尻持ちついた」と話される。痛みの確認するが、「どこも痛くない」とのことで、ベッドへ座っていただき、再度痛みと外傷の確認するも、特に変わったところなく、様子観察する。

12/31 離設

15時頃、お茶の声かけ時、居室にD様が居られないことに気付き、あしたか内を探すが居られず、外を探索したところ、居宅前をホーム看護主任に付き添われ、あしたかへ戻られるところへ出くわす。ホーム看護主任が言われるには、ゴミ捨て場付近に居られたとのこと。

◎ インシデント 0件

◎ 入院 0件

◎ 救急搬送 0件

2. 研修状況

◎サブスクリプション研修

- 11月 身体拘束の排除・高齢者虐待防止に関する研修
感染症・食中毒の予防及び蔓延防止に関する研修
倫理及び法令遵守に関する研修
- 12月 介護現場で気をつけたいプライバシー保護

◎外部研修

実施なし

3. 会議報告

- ・令和6年度第3回あしたか身体拘束廃止委員会 R6.11.20

今後身体拘束をしなければ対応が難しくなりそうなお利用者様について話し合い、新規利用のE様について、入所時より人感センサーを設置しているが、11/1 にポータブル前で尻もちがあり、今後も人感センサーは外せないと思われる。センサーが鳴った時はすぐ駆けつけるが、本人様の意向を尊重し、過度に行動を制限しないよう配慮すること、との結論となる。

- ・令和6年度第3回あしたか虐待防止委員会 R6.12.26

自己セルフチェック「虐待の芽チェックリスト」「高齢者虐待防止のセルフチェックリスト」「高齢者虐待防止のための組織体制チェックリスト」の説明を行い、後日提出していただくこととする。

集計結果については別紙参照

4. 行事予定

コロナウイルスの影響により、クラブ活動、外出を当面中止といたします。
随時散歩へ

2/12	散髪
2/14	習字
2/19	お茶会

5. 研修予定

◎サブスクリプション研修

1月 医療に関する教育、研修

2月26～27日 認知症対応型サービス事業管理者研修

6. 実習受け入れ

現在予定なし

7. その他

面会につきまして、コロナ感染の方も落ち着きましたので、直接面会を再開することといたしました。

面会は事前予約としており、AM1組、PM1組とし、15分程度の面会を実施しています。また、オンライン面会も引き続き行っております。

※受診の方は引き続きご協力のほどよろしくお願いいたします。

8. 意見交換

- ・全国的にインフルエンザが流行っている状況にあるが、こちらの施設ではどうか(市職員)

→ご利用者様はかかっている。職員の方は家族がかかったという例はあるが、職員本人はかかっている。感染症対策は引き続き行っており、加湿器を増設したり、定時に換気を行ったりしている(ケアマネ)。

→対応はコロナの時と変わらないということによいか(市職員)。

→そうです(ケアマネ)。

→今小学校ではすごい蔓延しているようです(地域代表者)。

→あしたかの職員は女性が多く、子供からもらうというリスクもあるので、皆気を付けている(ケアマネ)。
- ・転倒の事故報告があがっているが、大したことがなくてよかったと思う(地域代表者)。

→居室内での転倒を防ぐということが難しい。居室内で歩かせないというわけにもいかない。そこに関しては家族様に入所時の契約の時にリスクを説明している(ケアマネ)。

→体が固まっているので、歩き出す前には手や足を動かしてから動くよう、ご利用者にも繰り返し伝えていく必要があると思う(市職員)。

→在宅に居られる時よりも歩く量が減っているように思う。本人様が思っている以上に足腰の弱るのが早い。そこは気を付けていかないといけない(ケアマネ)。
- ・離設の事故報告について、この方は歩ける方なのか(地域代表者)。

→この方は歩ける方です(ケアマネ)。

→玄関に施錠はしてなかったのか(地域代表者)。

→基本日中は施錠はしていない。玄関にセンサーを設置しているが、電池が消耗していたのか、午前の段階で音がおかしいという認識はあったが、そのままにしていて、離設があった時に音に気付かなかったよう。ちょうど 15 時のお茶の時間で呼びに行ったらおられなかったので、外を探したということ。対策としていくつかセンサーを設置しているが、センサーがきちんと鳴るかというチェック表を作成し、適宜電池交換も行い、センサーが鳴らないということがないようにするように決まった。この方は夕方になると外に出ようとされるので、普段から気を付けていて、センサーが鳴れば駆け付けるようにしていた(ケアマネ)。

→出られてからそんなに時間は経っていないか(市職員)。

→すぐ近くのゴミ捨て場でホーム看護主任が発見されたので、出られてすぐのところで見られたと思われる(ケアマネ)。

→職員が手薄の時には施錠をするなどはできないか(地域代表者)。

→玄関の施錠は身体拘束になると思われる。夜間はもちろん施錠はするが、日中は基本施錠はしない(ケアマネ)。

→出たことに関してはその利用者には何か変化があったか(地域代表者)。

→この方は基本毎日職員付き添いで散歩を行っているが、その時は満足されるが、10 分もすると散歩をしたことを忘れられ、また外に出ようとされる。離設したことに関しても忘れられていると思う(ケアマネ)。

→玄関の施錠というのは完全に禁止されている行為なのか(地域代表者)。

→多分身体拘束になると思っている。ご利用者様の意にそぐわない形で鍵をかけてしまうという

- のはおそらく身体拘束ではないか(ケアマネ)。
- 認知のある方を限られた職員で見るわけで、部屋の鍵を閉めてしまうというのは身体拘束だと思われるが、玄関の施錠はどうだろうか(地域代表者)。
- 調べ直してみたいと思う(ケアマネ)。
- 預ける側としては、家で徘徊が多くて困っていて、施設に入れると安心されるところがある。施設ならそれなりの対応ができているものと思っている方が多い(地域代表者)。
- 居室の施錠は間違いなく身体拘束になるはずなので、玄関の施錠が身体拘束に当たるかどうかもう一度調べ直します(ケアマネ)。
- 職員の負担も多いと思うし、何かあった時に施設の責任ととられかねないので、ダメなものはダメだが、調べてみてほしい(地域代表者)。
- 安全を取って施錠して出るのを防ぐのがいいのか、微妙なところではあるのもう一度調べ直したいと思う(ケアマネ)。
- ・チェックリストをされたようですね(地域代表者)。
 - 前年度の運営推進会議でこういうことをしていると報告した時に、集計したほうが良いという意見をいただいたので、今回集計結果を出して、皆にわかるようにしてみた(ケアマネ)。
 - やはり虐待というのは個人だけの問題だけでなく、組織として取り組まなければならない。現時点で職員がどのような感情や不安を持っているか、それをリスト化してあげることも1つかなと。自分もイライラすることはあるが、その感情がダメということではなく、自分だけではなく、皆も同様の悩みがあるというのを把握し、そこからまた組織としてどのようにストレスを解消してあげるかなど、これからどう対応していくかが課題。27日にスタッフ会があるので、職員にも提示し、今後につなげたい(ケアマネ)。
 - 職員のメンタルケアは大切。職員も人間なので。児童クラブでもとても大変で、職員にやめないでと言うこともある。どこかでストレスの発散で、職員同士でコミュニケーションを取ったりも必要では(地域代表者)。
 - 以前契約の時に家族の方から何名の方が入っておられますかと聞かれ、9名ですとお伝えしたら、こういう方を9名も見てるんですかと言われたことがあった。確かに、家族の方は親が認知症になり1名見るだけでも大変なのに、それを9名も見てるとなると、客観的に見ても大変な職場なんだと思う。なので常日頃からセンサーを張って職員を守っていかないといけないと感じた(ケアマネ)。
 - こういうチェックリストをされることで、自分だけじゃないんだと思いが共感できるだけでもよいことだと思う(市職員)。
 - 思いが共感できることが大切で、よく虐待防止委員会で発見した時は上司に報告というのを伝えるが、まずは身近な職員でもいいので言い合える環境になるとよいと思う(ケアマネ)。

次回開催予定 令和7年3月14日(金) 13:30～ の予定。

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○